

大学番号：国074

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

事前伺い

九州工業大学大学院 生命体工学研究科
生体機能応用工学専攻(博士前期課程), 人間知能システム
工学専攻(博士前期課程), 生命体工学専攻(博士後期課程)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 九州工業大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 戦略企画室

職名・氏名 センモンシヨクイン ヨシオカサユキ
専門職員・吉岡雅之

電話番号 093-884-3654

(夜間) 093-884-3654

F A X 093-884-3015

e-mail sou-senryaku@jimu.kyutech.ac.

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	
	生体機能応用工学専攻（博士前期課程）	6
	人間知能システム工学専攻（博士前期課程）	9
	生命体工学専攻（博士後期課程）	12
3	施設・設備の整備状況，経費	15
4	既設大学等の状況	16
5	教員組織の状況	
	生体機能応用工学専攻（博士前期課程）	19
	人間知能システム工学専攻（博士前期課程）	21
	生命体工学専攻（博士後期課程）	23
6	留意事項に対する履行状況等	25
7	その他全般的事項	26

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 九州工業大学

(2) 大学名 九州工業大学

(3) 大学の位置

〒808-0196
福岡県北九州市若松区ひびきの2番4号

(〒804-8550
福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学・情報工学・学術)	2年	65人	130人	基礎となる学部等 -
生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学・情報工学・学術)	2年	57人	114人	基礎となる学部等 -
生命体工学研究科 生命体工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学・情報工学・学術)	3年	36人	108人	基礎となる学部等 -

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

(生体機能応用工学専攻(博士前期課程))

区 分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (-) [-]								1.15倍	
志願者数	93 (-) [3]									
受験者数	93 (-) [3]									
合格者数	84 (-) [3]									
B 入学者数	75 (-) [3]									
入学定員超過率 B/A	1.15									

(人間知能システム工学専攻(博士前期課程))

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 57 (-) [-]	人	人	人	人	人	1.10倍	
志願者数	81 (-) [6]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	81 (-) [6]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	67 (-) [5]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	63 (-) [5]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.10							

(生命体工学専攻(博士後期課程))

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 36 (-) [-]	人	人	人	人	人	1.05倍	
志願者数	38 (8) [15]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	38 (8) [15]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	38 (8) [15]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	38 (8) [15]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.05							

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

(生体機能応用工学専攻 (博士前期課程))

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	75								
2年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[3]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
			75						

(人間知能システム工学専攻 (博士前期課程))

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[5]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	63								
2年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[5]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
			63						

(生命体工学専攻 (博士後期課程))

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[15]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
	38								
2年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次					[]	[]	[]	[]	
計	[15]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
			38						

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(生体機能応用工学専攻(博士前期課程))

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	75 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	75 人	0 人					0 %

(人間知能システム工学専攻(博士前期課程))

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	63 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	63 人	0 人					0 %

(生命体工学専攻(博士後期課程))

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	38 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
合 計	38 人	0 人					0 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	脳科学基礎 1	1前		1			1					
	脳科学基礎 2	1前		1		1						
	数学基礎 1	1前		1		1						
	数学基礎 2	1前		1					1			
	工学基礎 1	1前		1		1						
	工学基礎 2	1前		1			1					
共通科目	社会と技術	1前		2							4	兼 5 予定していた非常勤講師が就任できなかったため (26)
	コミュニケーション	1前		2		1						
	マネージメント	1後		2		1						
	グリーンテクノロジー概論	1前		2							兼 9	
	人間知能システム概論	1後		2		3	4				オムニバス オムニバス	
実践科目	実践演習英語 1	1前		1							兼 2	
	実践演習英語 2	1後		1							兼 1	
	実践英語ワークショップ	1前		2							兼 2	
	国際インターンシップ	1・2通		2							兼 1	
	国内インターンシップ	1・2通		2							兼 1	
	出稽古 1	1・2通		1		6	11	1				
	出稽古 2	1・2通		1		6	11	1				
専門科目	知能機械設計演習 1	1後		2			2					
	知能機械設計演習 2	1後		2		1	1					
	人間知能情報処理演習	1後		2			2					
	神経情報処理演習	1前		2		1	2					
	知能集積システム 1	1前		2		1						
	知能集積システム 2	1後		2		1						
	知能デジタル集積回路	1後		2			1					
	ロボット運動学	1前		2		1						
	ロボット学習制御	1後		2			1					
	ロボット機構学	1後		2			1					
	人間機能代行システム	1後		2			1					
	パターン認識と学習理論	1後		2		1						
	脳型学習システム	1後		2			1					
	脳型知能創発	1前		2			1					
	視覚情報システム	1後		2			1					
	計算論的神経科学	1前		2							兼 1	
	理論言語科学	1前		2			1					
	行動認知心理学	1後		2			1					
	学習ロボティクス	1後		2					1			
	社会的知能システム構成論	1前		2			1					
	脳情報神経回路システム	1後		2		1						
	高次脳システム	1前		2		1						
	神経信号システム	1後		2			1					
	数理神経工学	1後		2			1					
	分子感覚システム	1後		2			1					
	マーケティング	1前		2		1						
	チーム・コミュニケーション・インタフェース	1後		2		1						
	実験動物学	1前		2							兼 1	
	視覚性運動制御機構	1後		2							兼 1	
	生理心理学	1後		2							兼 1	
	脳型自己組織システム	1後		2							兼 1	
	ヒト高次機能の脳計測	1後		2							兼 1	
画像センシング・知識情報処理工学	1後		2							兼 1		
人間情報感覚特論	1後		2							兼 1		
車載用知的情報処理	1後		2							兼 5		
ロボット工学概論	1前		2							兼 4		

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<生命体工学研究科 生命体工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実践科目	出稽古 1	1-2-3通		1		19	18	1				
	出稽古 2	1-2-3通		1		19	18	1				
	出稽古 3	1-2-3通		1		19	18	1				
	出稽古 4	1-2-3通		1		19	18	1				
専門科目	特別強化プログラム	1-2-3通	2			19	18	1				
	高度技術者育成特論	1-2-3通	2			19	18	1				
	有機エレクトロニクス-変換エレクトロニクス	1-2-3前		2		1						
	半導体ナノデバイスプロセス	1-2-3前		2		1						
	先端電気化学工学	1-2-3前		2			1					
	ナノエネルギー変換システム	1-2-3前		2		1						
	ソフトマターデバイス	未開講		2				1				課程見直しのため、追加、未開講(26)
	パワーエレクトロニクス応用	1-2-3後		2		1						
	バイオMEMS	1-2-3前		2		1						
	生体流体工学	1-2-3後		2		1						
	生体熱工学	1-2-3前		2		1						
	生体機械力学	1-2-3後		2			1					
	生体力学	1-2-3前		2		1						
	生体機能材料	1-2-3前		2				1				
	環境材料物理化学	1-2-3後		2		1						
	環境材料設計	1前		2				1				課程見直しのため、追加(26)
	エコマテリアル工学	1-2-3後		2		1						
	生物物質循環	1-2-3後		2				1				
	生物リサイクル工学	1-2-3後		2		1						
	環境適応機能	1-2-3前		2				1				
	生物電子工学	1-2-3後		2		1						
	生物機能構造	1-2-3前		2				1				
	生物機能分子工学	1-2-3前		2				1				
	光機能材料特論	1-2-3後		2				1				
	生体分子デザイン	1-2-3前		2				1				
	運動生理システム	1-2-3後		2		1						
	生体適応解析	1-2-3後		2		1						
	表面機能工学	1-2-3前		2							兼 1	
	機能材料工学	1-2-3前		2							兼 1	
	メカトロニクス	1-2-3前		2							兼 1	
	マイクロ化学	1-2-3後		2							兼 1	
	分野横断研修 1	1-2-3通		1			12	7				
	分野横断研修 2	1-2-3通		1			12	7				
	生体機能応用工学特論	1-2-3後		2							兼 8	
	知能集積システム 1	1-2-3前		2			1					
	知能集積システム 2	1-2-3後		2			1					
	知能デジタル集積回路	1-2-3後		2				1				
	ロボット運動学	1-2-3前		2			1					
	ロボット学習制御	1-2-3後		2				1				
	ロボット機構学	1-2-3後		2				1				
人間機能代行システム	1-2-3後		2				1					
パターン認識と学習理論	1-2-3後		2			1						
脳型学習システム	1-2-3後		2				1					
脳型知能創発	1-2-3前		2				1					
視覚情報システム	1-2-3後		2				1					
計算論的神経科学	1-2-3前		2							兼 1		
理論言語科学	1-2-3前		2				1					
行動認知心理学	1-2-3後		2				1					
学習ロボティクス	1-2-3後		2					1				
社会的知能システム構成論	1-2-3前		2				1					
脳情報神経回路システム	1-2-3後		2			1						
高次脳システム	1-2-3前		2			1						

神経信号システム	1-2-3後	2			1				
数理神経工学	1-2-3後	2			1				
分子感覚システム	1-2-3後	2			1				
マーケティング	1-2-3前	2		1					
チーム・コミュニケーション・インタフェース	1-2-3後	2		1					
実験動物学	1-2-3前	2							兼 1
視覚性運動制御機構	1-2-3後	2							兼 1
生理心理学	1-2-3後	2							兼 1
脳型自己組織システム	1-2-3後	2							兼 1
ヒト高次機能の脳計測	1-2-3後	2							兼 1
画像センシング・知識情報処理工学	1-2-3後	2							兼 2
人間情報感覚特論	1-2-3後	2							兼 1
英語テクニカルライティング	1-2-3後	2							兼 1
車載用知的情報処理	1-2-3後	2							兼 5
ロボット工学概論	1-2-3前	2							兼 4
生命体総合科目 1	1-2-3通	1							兼 1
生命体総合科目 2	1-2-3通	1							兼 1
生命体総合科目 3	1-2-3通	2							兼 1
生命体総合科目 4	1-2-3通	2							兼 1
人間知能システム工学特論 1	1-2-3通	1		7	11	1			
人間知能システム工学特論 2	1-2-3通	1		7	11	1			
人間知能システム工学特論 3	1-2-3通	1		7	11	1			
人間知能システム工学特論 4	1-2-3通	1		7	11	1			
演習	特別演習	1~3通	4		19	18			

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
3	75	0	78	3	77	0	80	
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学看施設	語学学習施設		
	室	室	室	(補助職員 人)	(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		(例) 平成26年4月 専任教授1名を新規採用のため (26)	
	〇〇学部 〇〇学科			(例) 16 室 15			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点
	〇〇学部	([])	([])	([])	()	()	()
	計	([])	([])	([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	九州工業大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部									
機械知能工学科	4	140		560	学士 (工学)	1.04	平成9年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学科	4	80		320	学士 (工学)	1.03	平成9年度	同上	
電気電子工学科	4	130	3年次 学科 共通 20	520	学士 (工学)	1.03	平成20年度	同上	
応用化学科	4	70		280	学士 (工学)	1.05	平成20年度	同上	
マテリアル工学科	4	60		240	学士 (工学)	1.05	平成20年度	同上	
総合システム工学科	4	51		204	学士 (工学)	1.00	平成20年度	同上	
電気工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和63年度	同上	平成20年度より学生募集停止
物質工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和63年度	同上	平成20年度より学生募集停止
情報工学部									
知能情報工学科	4	88	3年次10	372	学士 (情報工学)	1.03	昭和62年度	福岡県飯塚市川津640-1	
電子情報工学科	4	88	3年次10	372	学士 (情報工学)	1.04	昭和62年度	同上	
システム創成情報工学科	4	78	3年次10	332	学士 (情報工学)	1.03	平成16年度	同上	
機械情報工学科	4	78	3年次10	332	学士 (情報工学)	1.05	平成16年度	同上	
生命情報工学科	4	78	3年次10	332	学士 (情報工学)	1.01	平成16年度	同上	
工学府 (博士前期課程)									
機械知能工学専攻	2	78	—	156	修士 (工学)	1.22	平成20年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
建設社会工学専攻	2	39	—	78	修士 (工学)	0.85	平成20年度	同上	
電気電子工学専攻	2	59	—	118	修士 (工学)	1.25	平成20年度	同上	
物質工学専攻	2	51	—	102	修士 (工学)	1.17	平成20年度	同上	
先端機能システム工学専攻	2	34	—	68	修士 (工学)	1.30	平成20年度	同上	
(博士後期課程)									
工学専攻	3	17	—	51	博士 (工学)	0.52	平成26年度	福岡県北九州市戸畑区仙水町1-1	
機械知能工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
建設社会工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止
物質工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学生募集停止

先端機能システム工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
工学研究科									
(博士後期課程)									
建設社会工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成13年度	福岡県北九州市戸 畑区仙水町1-1	平成20年度より学 生募集停止
電気工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和63年度	同上	平成20年度より学 生募集停止
情報工学府									
(博士前期課程)									
先端情報工学専攻	2	55	—	110	修士 (情報工学)	1.25	平成26年度	福岡県飯塚市川津 640-1	
学際情報工学専攻	2	80	—	160	修士 (情報工学)	1.17	平成26年度	同上	
情報創成工学専攻	2	40	—	80	修士 (情報工学)	1.16	平成20年度	同上	平成26年度より入 学定員変更
情報科学専攻	2	—	—	—	修士 (情報工学)	—	—	同上	平成26年度より学 生募集停止
情報システム専攻	2	—	—	—	修士 (情報工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
(博士後期課程)									
情報工学専攻	3	14	—	42	博士 (情報工学)	1.07	平成26年度	福岡県飯塚市川津 640-1	
情報科学専攻	3	—	—	—	博士 (情報工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
情報システム専攻	3	—	—	—	博士 (情報工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
情報創成工学専攻	3	—	—	—	博士 (情報工学)	—	平成20年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
生命体工学研究科									
(博士前期課程)									
生体機能応用工学専攻	2	65	—	130	修士(工 学・情報工 学・学術)	1.15	平成26年度	福岡県北九州市若 松区ひびきの2-4	
人間知能システム工学専攻	2	57	—	114	修士(工 学・情報工 学・学術)	1.10	平成26年度	同上	
生体機能専攻	2	—	—	—	修士(工 学・情報工 学・学術)	—	平成12年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
脳情報専攻	2	—	—	—	修士(工 学・情報工 学・学術)	—	平成12年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
(博士後期課程)									
生命体工学専攻	3	36	—	108	博士(工 学・情報工 学・学術)	1.05	平成26年度	福岡県北九州市若 松区ひびきの2-4	
生体機能専攻	3	—	—	—	博士(工 学・情報工 学・学術)	—	平成12年度	同上	平成26年度より学 生募集停止
脳情報専攻	3	—	—	—	博士(工 学・情報工 学・学術)	—	平成12年度	同上	平成26年度より学 生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学
科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月
1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論	平成25年3月 〇〇〇〇教授就任辞任のため 担当者の変更(25) 平成25年7月 AC教員審査済(26)
					兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成25年10月	■■■論						……………のため、就任が遅延(26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年4月	◎◎◎論						平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 「後任未定」平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
19	0	19	21	0	21	63	0
(21)	(0)	(21)	[2]	[0]	[2]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻（博士前期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論	平成25年3月 〇〇〇〇教授就任辞任のため 担当者の変更(25) 平成25年7月 AC教員審査済(26)
					兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月	日本経済学特論	
					専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成25年10月	■■■論						……………のため、就任が遅延(26)
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年4月	◎◎◎論						平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 「後任未定」平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
18	1	19	18	1	19	63	0
(18)	(1)	(19)	[0]	[0]	[0]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<生命体工学研究科 生命体工学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	〇〇〇〇 (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究	兼任	講師	◆◆◆ (〇〇)	平成25年4月	国際経済学特論	平成25年3月 〇〇〇〇教授就任辞任のため 担当者の変更(25) 平成25年7月 AC教員審査済(26)	
						兼任	講師	◇◇◇ (〇〇)	平成25年4月		日本経済学特論
						専	准教授	●●●● (〇〇)	平成25年10月		国際経済学特論 日本経済学特論 特別研究
専	講師	△△△△ (〇〇)	平成25年10月	■■■論						……………のため、就任が遅延(26)	
専	准教授	□□□□ (〇〇)	平成25年4月	◎◎◎論						平成25年10月 □□□□准教授就任辞退(26) 「後任未定」平成26年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。	
					兼任	教授	▲▲▲▲ (〇〇)	平成26年4月	〇〇〇〇論	平成26年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(26)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、**本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
19	18	37	20	19	39	63	0
(20)	(19)	(39)	[1]	[1]	[2]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)			
設置計画履行状況 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生命体工学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1科目・2単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの (未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	
--	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成26年5月1日 公表</p> <p>演習</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成26年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年 6月)</p>
